

シャッターで繋がる学生のキャンパス

ただいまの 武井 美里花 議員のご質問にお答え申し上げます。

シャッターで繋がる学生のキャンパスについてですが、まず始めに、沼田市をより良い場所にしていくために、大人の力だけでなく、将来を担っていく学生である武井議員自身も協力したい、というご提案をいただき、大変勇気づけられましたので、お礼申し上げます。

そして、シャッターをキャンパスとして、沼田市の学生で協力して絵を描こう、という素晴らしいご提案をいただき、ありがとうございます。沼田市では、テラス沼田の工事期間中に、^{せこう} 施工業者にご協力いただき、仮囲いに幼稚園児や小中学生が描いた絵などを展示していました。「沼田市の未来を担う子供たちの作品で、殺風景になりがちな工事現場が明るくなった」と、市民の皆さんにも大変好評でした。

店舗のシャッターに、学生の皆さんの手によって、希望の象徴となるテーマの絵が描かれ、しかも、幾つかのシャッターを合わせると 1

枚の絵になり、沼田市の絆や繋がりを感ずることができず。「シャッターで繋がる学生のキャンパス」は、新型コロナウイルス対策のため、人との距離を常に意識しているうちに、知らず知らずのうちに疲れてしまっている私たちの心に響き、希望を与えてくれるものになるのではないでしようか。

対象となる店舗をどこにしたらよいのか、店舗の所有者にご承諾がいただけるかどうか、商店街のイベントに合わせて実施するなど、プロジェクトをたくさんの人に見ていただく仕組みをどのように作っていったらよいのか、など、プロジェクトの実施に当たっては、いろいろな課題が発生するかも知れません。市民の皆さんにご協力いただき、ひとつずつ解決しながら、今後も、魅力あるまちづくりに向けて、研究してまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、^{たけい}武井 ^{みりか}美里花 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。